

2024年12月期 第3四半期  
決算説明資料

2024年11月14日

株式会社トレードワークス  
証券コード：3997

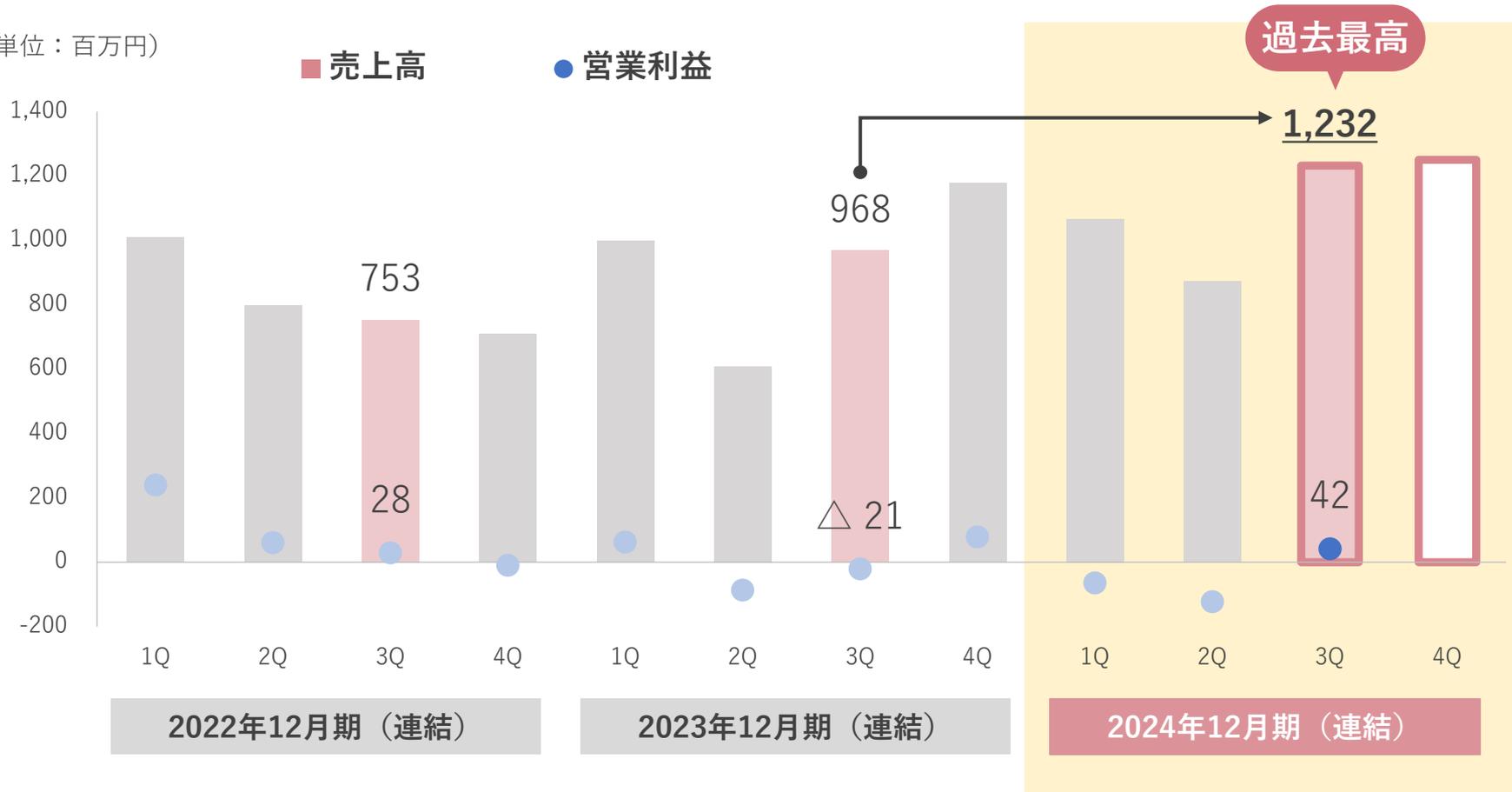
1. 2024年12月期 第3四半期 概況
2. トピックス
3. 当社の取り組み
4. 2024年12月期 業績予想
5. 株主還元と株価対策

## 1. 2024年12月期 第3四半期 概況

---

第3四半期期間（7－9月）は、計画以上に売上が増加し過去最高の売上高。営業利益は人員等への先行投資の影響による原価増により利益率が低下していましたが、当第3四半期から事業の見直し及び利益率改善策を実施し、改善の兆し。

（単位：百万円）



## 2024年12月期 四半期対比業績（QtoQ）

当第3四半期は、当第2四半期と比較して売上増。利益面では人員等への先行投資の影響により利益率が低下していましたが、当第3四半期から事業の見直し及び利益率改善策を実施し、原価率の改善により、売上総利益、営業利益が向上。

(単位：百万円)	2023.12期				2024.12期			QtoQ
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	998	608	968	1,178	1,066	872	<b>1,232</b>	<b>359</b>
売上原価	787	532	779	900	917	794	<b>975</b>	<b>180</b>
売上総利益	210	76	188	277	149	78	<b>256</b>	<b>178</b>
粗利率	21.1%	12.6%	19.5%	23.6%	14.0%	9.0%	<b>20.8%</b>	-
販管費	148	164	210	200	214	201	<b>213</b>	<b>12</b>
営業利益	62	▲87	▲21	78	▲65	▲123	<b>42</b>	<b>165</b>
営業利益率	6.2%	-14.4%	-2.2%	6.6%	-6.2%	-14.1%	<b>3.5%</b>	-
経常利益	62	▲83	▲19	82	▲66	▲123	<b>42</b>	<b>165</b>
四半期純利益	44	▲61	▲76	39	▲106	▲88	<b>25</b>	<b>113</b>

## 2024年12月期 四半期対比業績（QonQ）

当第3四半期は、昨年と同四半期と比較して、売上、利益ともに改善しており、増収増益となる。

(単位：百万円)	2023.12期				2024.12期			QonQ
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	998	608	968	1,178	1,066	872	<b>1,232</b>	<b>263</b>
売上原価	787	532	779	900	917	794	<b>975</b>	<b>195</b>
売上総利益	210	76	188	277	149	78	<b>256</b>	<b>68</b>
粗利率	21.1%	12.6%	19.5%	23.6%	14.0%	9.0%	<b>20.8%</b>	-
販管費	148	164	210	200	214	201	<b>213</b>	<b>3</b>
営業利益	62	▲87	▲21	78	▲65	▲123	<b>42</b>	<b>64</b>
営業利益率	6.2%	-14.4%	-2.2%	6.6%	-6.2%	-14.1%	<b>3.5%</b>	-
経常利益	62	▲83	▲19	82	▲66	▲123	<b>42</b>	<b>61</b>
四半期純利益	44	▲61	▲76	39	▲106	▲88	<b>25</b>	<b>101</b>

## 2024年12月期 第3四半期累計 連結業績

売上高

3,171百万円

前年同期比 約5.9億円増

営業利益

▲146百万円

前年同期比 約1.0億円減

四半期純利益

▲169百万円

前年同期比 約0.7億円減

### 収益増減理由

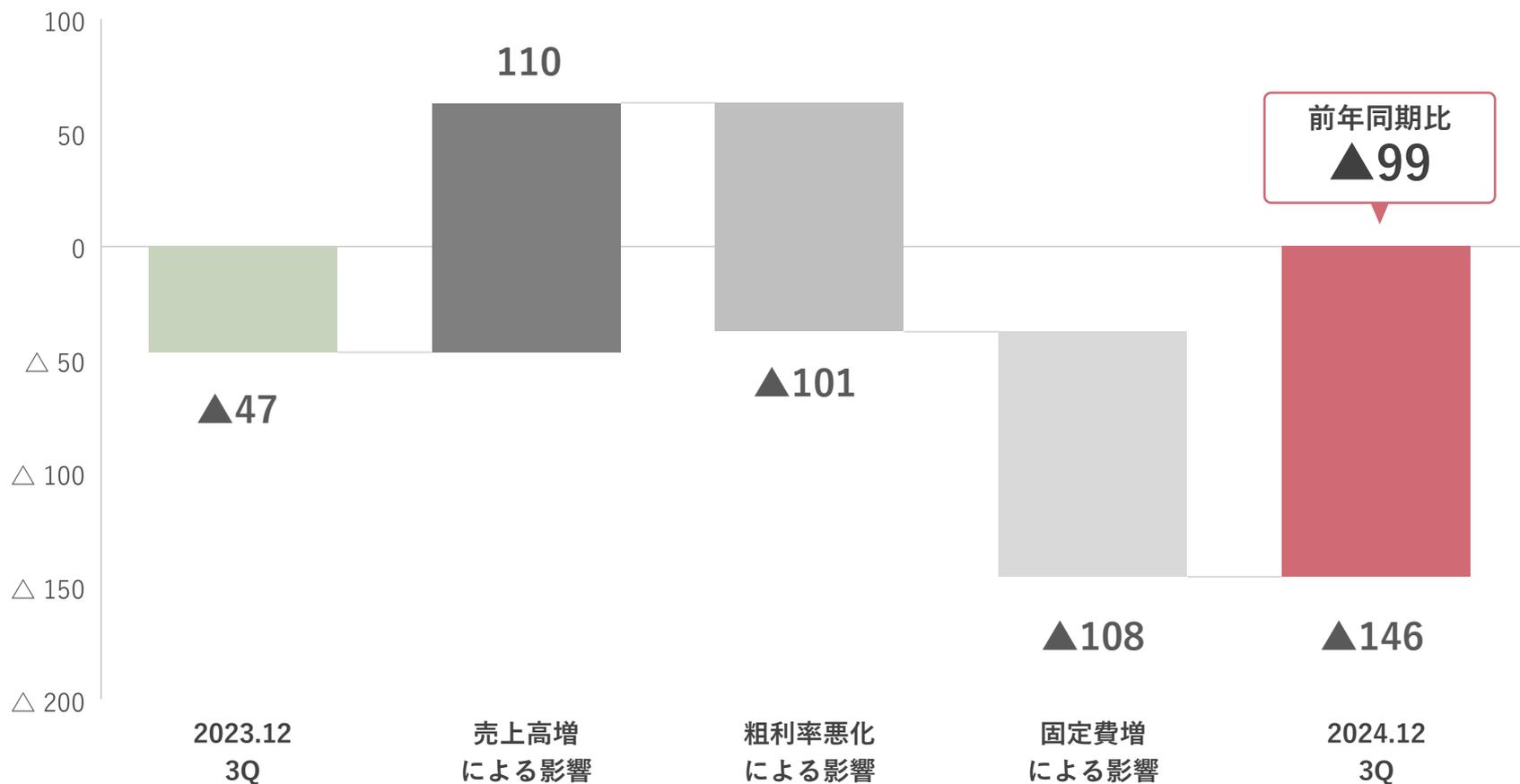
- ペガサス・システム株式会社の連結増収効果（+387百万円）
- 大型案件獲得（+269百万円）

### 利益増減理由

- 粗利の良化
  - ・ 売上高5.9億円増による粗利増（+110百万円）
- 粗利の悪化
  - ・ 赤字案件の損失見込額を引当金として計上（▲43百万円）
  - ・ 本社・子会社移転による固定費増加（▲47百万円）
- 人員増による人件費の増（▲75百万円）
- 出資先の業績悪化による貸倒引当金を計上（▲24百万円）

売上高増による利益増となるも、製造原価における人件費等の固定費増による粗利悪化による利益減が大きくなった為、前年同期と比較して約99百万円営業利益が減少となる

(単位：百万円)



大型案件受注等により増収。利益面については、原価・固定費の増加、子会社はじめ人員先行投資等による原価増により減益。第3四半期時点で改善するも、上期における大幅な利益減を吸収できず、通期予想も大きく減益の見込み。

(単位：百万円)	2023.12期 3Q	2024.12期 3Q	2024.12期 通期予想
売上高	2,575	3,171	4,500
営業利益	▲46	▲146	▲86
経常利益	▲40	▲147	▲83
四半期純利益	▲92	▲169	▲123

# 貸借対照表

	2023.12期	2024.12期 3Q	増減額
	(単位：百万円) 連結	連結	
<b>流動資産</b>	1,824	<b>1,330</b>	▲494
現金及び預金	615	403	▲212
売掛金	728	450	▲278
<b>固定資産</b>	1,219	<b>1,234</b>	15
有形固定資産	275	268	▲7
無形固定資産	403	431	28
投資その他の資産	540	534	▲6
<b>資産合計</b>	3,043	<b>2,565</b>	▲478

	2023.12期	2024.12期 3Q	増減額
	(単位：百万円) 連結	連結	
<b>流動負債</b>	1,047	<b>774</b>	▲273
買掛金	176	181	5
未払法人税	25	15	▲10
<b>固定負債</b>	610	<b>530</b>	▲80
<b>純資産合計</b>	1,385	<b>1,261</b>	▲124
<b>負債・純資産合計</b>	3,043	<b>2,565</b>	▲478

## 2. トピックス

---

International

## 日本経済新聞

2024年10月15日 (火)

トップ 速報 ビジネス マーケット 経済 国際 オピニオン 政治 金融 マネーのまなび テック ス

トップ マーケット 株式 企業・業績 為替・金利 ランキング 投信 朝刊・夕刊

決算書をイチから読み解く セミナー詳細はこちら

3997：システム・ソフトウェア | スタンダード  
【株取引システム】主に証券会社向けに株式やFX取引システムを開発。

### トレードワークス

フォローする

現在値(9:53)：1,490円 前日比：+135(+2.81%)

トップ ニュース チャート 株価 業績・財務 企業発情報 企業概要 株主情報 コンセンサス

#### 飲食クーポン、容易に配布 トレードワークスがシステムネット証券、顧客争奪の武器に

2024/10/10付 | 日本経済新聞 朝刊

金融機関向けシステムを手掛ける2社が10月下旬にも、顧客にクーポンを配る新しいシステムを共同で提供を始める。飲食店やサービス業者が発行する優遇サービスをセットにしてお徳感を出すことができる。まず手数料無料化やポイント付与で熾烈(しれつ)な顧客争奪戦を繰り広げているネット証券を対象にする。

システムを開発するトレードワークスと営業に強みのあるミンカブソリューションサービスが今年5月に業務提携し、その第1弾となる。クーポンはNFT(非代替性トークン)技術を使って発行する。ネット証券はクーポン発行企業から広告収入を得ることで、発行負担は小さい。

例えば、口座引店の割引クーポンにする。楽心事項もよりクーポン発行人確認を済まして取りやす

金融機関向けシステムを手掛ける2社が10月下旬にも、顧客にクーポンを配る新しいシステムを共同で提供を始める。飲食店やサービス業者が発行する優遇サービスをセットにしてお徳感を出すことができる。まず手数料無料化やポイント付与で熾烈(しれつ)な顧客争奪戦を繰り広げているネット証券を対象にする。

システムを開発するトレードワークスと営業に強みのあるミンカブソリューションサービスが今年5月に業務提携し、その第1弾となる。クーポンはNFT(非代替性トークン)技術を使って発行する。ネット証券はクーポン発行企業から広告収入を得ることで、発行負担は小さい。

この記事は会員限定です。電子版に登録すると続きをお読みいただけます。



システム系2社が金融機関向けにクーポン配布のシステムを開発する

金融機関向けシステムを手掛ける2社が10月下旬にも、顧客にクーポンを配る新しいシステムを共同で提供を始める。飲食店やサービス業者が発行する優遇サービスをセットにしてお徳感を出すことができる。まず手数料無料化やポイント付与で熾烈(しれつ)な顧客争奪戦を繰り広げているネット証券を対象にする。

システムを開発するトレードワークスと営業に強みのあるミンカブソリューションサービスが今年5月に業務提携し、その第1弾となる。クーポンはNFT(非代替性トークン)技術を使って発行する。ネット証券はクーポン発行企業から広告収入を得ることで、発行負担は小さい。

### 飲食クーポン 容易に配布

#### トレードワークスがシステムネット証券、顧客争奪の武器に

金融機関向けシステムを手掛ける2社が10月下旬にも、顧客にクーポンを配る新しいシステムを共同で提供を始める。飲食店やサービス業者が発行する優遇サービスをセットにしてお徳感を出すことができる。まず手数料無料化やポイント付与で熾烈(しれつ)な顧客争奪戦を繰り広げているネット証券を対象にする。

システムを開発するトレードワークスと営業に強みのあるミンカブソリューションサービスが今年5月に業務提携し、その第1弾となる。クーポンはNFT(非代替性トークン)技術を使って発行する。ネット証券はクーポン発行企業から広告収入を得ることで、発行負担は小さい。

例えば、口座引店の割引クーポンにする。楽心事項もよりクーポン発行人確認を済まして取りやす

金融機関向けシステムを手掛ける2社が10月下旬にも、顧客にクーポンを配る新しいシステムを共同で提供を始める。飲食店やサービス業者が発行する優遇サービスをセットにしてお徳感を出すことができる。まず手数料無料化やポイント付与で熾烈(しれつ)な顧客争奪戦を繰り広げているネット証券を対象にする。

システムを開発するトレードワークスと営業に強みのあるミンカブソリューションサービスが今年5月に業務提携し、その第1弾となる。クーポンはNFT(非代替性トークン)技術を使って発行する。ネット証券はクーポン発行企業から広告収入を得ることで、発行負担は小さい。

掲載新聞・メディア

## 日本経済新聞

東洋経済 ON LINE

毎日新聞

CNET Japan JIJI.COM

現代ビジネス

NEWS PICKS

Rakuten Infoseek News

excite. ニュース

MINKABU

TBS NEWS DIG

BIGLOBE

アキバ経済新聞 赤坂経済新聞 東京ベイ経済新聞

TECHABLE @nifty ビジネス

ココココニュース シフヤ経済新聞

茨城新聞 さんいちEye 山梨日日新聞デジタル

BtoBプラットフォーム 業界Ch JORUDAN NEWS

impress BUSINESSMEDIA ZD NET

## ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の第三者認証基準である国際規格「ISO27017 ISMSクラウドセキュリティ認証(ISMS-CS)」を取得

### 【認証取得の結果】

当社の提供するクラウドサービスが国際的な信頼性水準で信頼性を担保していることを証明します。

- ・ ISO27017 ISMSクラウドセキュリティ認証(ISMS-CS)」は、クラウドサービスに特化したセキュリティ規格
- ・ クラウド環境における情報漏洩リスクやサイバー攻撃への対策を強化するガイドラインを含む
- ・ クラウド上でのデータの保護やアクセス制御、セキュリティ事故発生時の対応力が求められる現代のビジネス環境に対応



当社は、金融取引システム、ECプラットフォームの開発・運用・保守のサービスを提供する事業者として、今後も「情報セキュリティ基本方針」「個人情報保護基本方針」に基づき、情報資産の「機密性」「完全性」「可用性」を確実に保護し、高い信頼性と安全性を備えたシステムを提供するため、一層情報管理体制・運用の強化に努めてまいります。

## 10月18日 株主優待制度を導入

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝とともに、当社株式への投資の魅力をより一層高め、中長期的に株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待制度の導入を決定いたしました。

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された6単元（600株）以上保有の株主様が対象となります。対象となる株主様には、当優待制度により交換できる商品や株主様限定の特設ウェブサイトへの登録方法などを記載した「トレードワークス・プレミアム優待倶楽部のご案内」を2025年1月下旬（予定）にお送りいたします。

5,000種類以上の商品から交換できる 株主様へのプレミアム優待「選べる楽しみ」



TRADE WORKS  
トレードワークス・プレミアム優待倶楽部

5,000種類以上の優待商品から  
ポイントと交換！

## 10月24日 個人投資家向けIR説明会開催（大阪）

IR説明会には、当社 代表取締役社長 齋藤正勝が登壇。  
多数のご参加をいただき盛況のうちに終了いたしました。  
当社のビジネスモデルに関心をお寄せいただくとともに、今後の金融業界に関するご質問も頂戴しました。

※12月24日には、東京にて開催予定



（朝日生命ホール）齋藤 正勝



### 3. 当社の取り組み

---

**1** 総合証券・ネット証券  
大手パイプラインの強化

**2** 資本業務提携を活かした展開

**3** 上流コンサル・AI/オフショア活用  
人材底上げ

**4** グループDX化の推進  
企業文化、組織、風土改革

- 受注拡大
- 新案件獲得
- 新規顧客開拓

● 利益創出

● 生産性向上

## 米国株システム

【現在】

インターネット取引システムとして業界最多の4社にサービス提供中

【今後】

当実績を基に大手ネット証券に向け大規模導入プロジェクトを推進中

(26年初リリース予定)。

また、10月25日にニューヨーク取引所が取引時間を1日22時間へ延長する計画を発表。当社では当発表に伴う国内証券市場のパラダイムシフトを見越し、システム化対応とあわせ新規導入に向けた営業を強化

## 暗号資産 FX/CFDシステム

【現在】

CXRエンジニアリング社との資本業務提携を基礎に暗号資産システムの導入を推進。現在、大手暗号資産会社2社にサービス提供中

【今後】

当社の従来からの強みである株式取引システムに加え、金融セグメント内のアセットを強固にすべく、暗号資産とあわせてFX/CFDのプラットフォーム事業の展開準備中。大手ネット銀行への導入が決定 (25年夏頃リリース予定)

## 証券業務システム プラットフォーム

【今後】

当年6月に締結したSCSK社との資本業務提携を基礎に証券業務システムプラットフォームの構築及び営業を推進中。現在、第一弾として大手ネット証券向けに米国株のトータルシステムの導入プロジェクトを推進中 (前述の米国株プロジェクト)。また、ネットチャネルに加えて対面営業を行う総合証券に向けて当プラットフォーム導入に向け本格検討中。

## 4. 2024年12月期 業績予想

---

大型案件獲得等により増収。しかしながら事業拡大に向けた人員増等による原価・固定費等の増加により、第1四半期、第2四半期は減益となった。  
 第3四半期より事業見直しを行い利益改善は進展したものの、通期業績達成には至らず大幅な減益となる見込み。

(単位：百万円)	2022.12期 連結	2023.12期 連結	2024.12期 連結 (予)
売上高	3,270	3,753	4,500
営業利益	318	31	▲86
経常利益	327	41	▲83
親会社に帰属する 当期純利益	200	▲53	▲123

※：当社は、2022年3月に株式会社あじよを子会社化。2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化。  
 これらに伴い2022年第1四半期より連結決算をおこなっております。

※：2024年2月13日に公表

※：2024年11月14日に修正公表

## 5. 株主還元と株価対策

---

## ・株主優待制度の導入

新たな還元策として、株主優待制度を導入いたしました。

本制度は今期末の株主様より適用し、長期的にご支援いただく皆様に感謝の意を込めて、持続的な株主価値の向上を目指してまいります。

## ・株主還元方針

当社は、今後も株主の皆様へ還元しつつ、事業の成長を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

昨年度同様、1株あたり20円の配当を予定

	2022.12期	2023.12期	2024.12期 (予)
配当金 (1株)	15円	20円	20円

※：2024年 2月13日に公表

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス

〒107-6110 東京都港区赤坂5丁目2番20号

赤坂パークビル10階

TEL :03-6230-8900 FAX:03-6230-8901

<https://www.tworks.co.jp/>